



令和4年度

公益社団法人 日本補綴歯科学会

第2回 専門医研修会

テーマ：新技術を用いた補綴治療
保険収載から8年経過したCAD/CAM冠の再評価

抄録集

日時：2022年6月19日（日）10：00～12：00

会場：WEB開催（Zoom Webinar）

主催 公益社団法人 日本補綴歯科学会

理事長 馬場一美

修練医・認定医・専門医制度委員会 委員長 河相安彦

学会事務局：

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4階

TEL：03-6722-6090

運営事務局：株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 1丁目 6-14

令和4年度
公益社団法人 日本補綴歯科学会
第2回専門医研修会

抄録集

目 次

1. 専門医研修会参加の皆様へ	1
2. 専門医研修会タイムテーブル	5
3. 専門医研修会抄録	7

1. 専門医研修会参加の皆様へ

開催概要

開催方式：WEB 開催（ライブ配信＋オンデマンド配信）

日 時：ライブ 2022 年 6 月 19 日（日）10:00～12:00

オンデマンド 2022 年 6 月 21 日（火）～6 月 30 日（木）

（オンデマンドでの視聴は、単位は付与されません。）

単位について

4 単位（本年度中の専門医研修会への参加回数の制限はありませんが、年度内 8 単位を取得上限とします。）

【単位付与条件】

ライブ配信視聴の場合のみ単位付与します。

ライブ配信開始 5 分後以降の入室，終了予定時刻 10 分前以前の退室には単位を付与しません。

アクセスログで単位登録いたしますので，視聴中の通信環境にご留意ください。

後日のオンデマンド配信視聴は，参加費をお支払いいただければ何度でも可能ですが，単位は付与されません。

【日歯研修単位】

日本歯科医師会会員の方は，上記と同じ条件で研修単位を付与しますので，申し込みページに **日歯 IC カード番号（6 桁）** を記入して下さい。

【アンケート】

単位取得に必須ではありませんが，アンケートサイトのアドレスをご案内しますので，ご協力をよろしくお願いいたします。

参加登録

申し込みは、2段階となっております。管理の都合上、お手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

参加費のお支払い方法は、1) クレジットカード決済または2) 銀行振込の2通りとなります。

※登録されるメールアドレスについて

キャリアメール（docomo.ne.jp, ezweb.ne.jp, softbank.ne.jp 等）をお使いの場合、自動返信メールが届かない可能性がありますので、極力キャリアメール以外でのご登録をお願いいたします。

1) クレジットカードでお支払いされる場合

【研修会参加申込フォームはこちら】

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/628c6da902f9a17d46cb67bd

（業務委託先の Payvent システム（株式会社 Urbs 運営）に移動します）

<ご案内>

令和4年度は国内企業および他学会の運用実績をもとにセキュリティ対策を講じたシステムを採用いたしました。

プライバシーポリシー <https://payvent.net/privacy-policy/>

1. 研修会参加申込フォームにて、必要事項をご入力いただき、「送信をする」を押してください。
2. 入力されたメールアドレス宛に視聴登録用 URL を6月16日（木）にお送りいたします。視聴登録用 URL から「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレス、補綴歯科学会会員番号をご入力ください。登録後、no-reply@zoom.us から参加用のメールが届きます。

2) 銀行振込でお支払いされる場合

【研修会参加申込フォームはこちら（銀行振込）】

<https://shinsen-mc.co.jp/jps2022/>

1. 参加申込フォームより、①～⑦の必要情報を明記の上、送信してください。
2. 登録されたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。そちらのメールに、お振込み口座が記載されていますので、お申込後1週間以内を目途（最終期日6/17（金）正午）

までに、参加費のお振込みをお願いいたします。

3. 参加費のお振込みをもちまして参加登録完了となります。

- ①ご所属先
- ②お名前（漢字）
- ③フリガナ
- ④電話番号
- ⑤メールアドレス
- ⑥補綴歯科学会番号
- ⑦日歯 IC カード番号（6桁） ※日本歯科医師会会員の方

参加・視聴方法

上記の2段階目の登録終了後に no-reply@zoom.us から届きましたメールからご参加ください。メール下段の「ウェビナーに参加」を押すか、URL をクリックしてください。

当日は30分前より入室可能です。

参加する皆様へ

1. 参加（ライブ聴講）方法は下記の通りとなりますのでご熟読ください。

1) 研修会参加申込フォームにて、必要事項をご入力いただき、「送信をする」を押してください。ご氏名は必ず「漢字」にて、補綴歯科学会会員番号も必須でご入力ください。

2) 運営事務局より6月16日（木）に入力されたメールアドレス宛に視聴登録用 URL をお送りいたします。視聴登録用 URL から「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレスをご入力ください。登録後、no-reply@zoom.us から参加用のメールが届きます。

ブラウザ（ZOOM US からアクセスの場合）からのログイン情報（ID,PW）は6月16日（木）のURL案内時にお送りします。

3) 専門医研修会は終了しますと、全員強制退出となります

2. 使用ツールおよび登録のお願い

本専門医研修会は Zoom 会議システム（ウェビナー）を利用します。専門医研修会開催までに各自にて事前にお持ちの PC、タブレット、または携帯端末等へ Zoom アプリのインス

ツールおよび事前登録の氏名とメールアドレスの入力をお願いいたします。

※アプリからご視聴の際は6月16日（木）に配信されるメール記載のID，パスコードをご入力願います。

3. オンデマンド配信について

視聴期間：2022年6月21日（火）～6月30日（木）

1. **視聴用 URL は、運営事務局より6月20日（月）に参加登録者に一斉にEメールにて送信**されます。
2. なお、フリーメールや携帯キャリアのメールは迷惑メールフォルダへサーバーが自動振り分けする場合がありますので、**受信トレイ以外もご確認**頂きますようお願いいたします。

事務局・お問い合わせ

1 研修会について

公益社団法人日本補綴歯科学会事務局

〒105-0014

東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4階

TEL：03-6722-6090

hotetsu-gakkai01@hotetsu.org

2 参加登録について

株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 1丁目 6-14

TEL：025-278-7232 FAX：025-278-7285（平日9：00～17：00，土，日，祝日休み。）

E-mail：jps2022@shinsen-mc.co.jp

2. 専門医研修会タイムテーブル

10:00-10:40

【講演1】咬合力と支台歯の条件から CAD/CAM 冠の適応を考える

座長：新谷 明一 先生（東京支部）

小泉 寛恭 先生（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：田邊 憲昌 先生（東北・北海道支部）

10:40-11:20

【講演2】臨床研究の成果から CAD/CAM 冠を再考する

座長：新谷 明一 先生（東京支部）

小泉 寛恭 先生（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：峯 篤史 先生（関西支部）

11:20-12:00

【質疑応答】

3. 専門医研修会抄録

専門医研修会 座長抄録

座長

新谷 明一（東京支部）日本歯科大学

小泉 寛恭（修練医・認定医・専門医制度委員会）日本大学

Chairpersons

Akikazu Shinya

Dental Materials Science, School of Life Dentistry at Tokyo, The Nippon Dental University

Hiroyasu Koizumi

Department of Dental Materials, Nihon University School of Dentistry

コンピュータ支援設計・製造装置（歯科用 CAD/CAM 装置）を用いて、コンジットレジンプロックを切削することによって製作された CAD/CAM 冠は、平成 26 年度の診療報酬改定により小白歯に保険導入され、更には平成 28 年に大白歯、そして此程、前歯部への保険適応が拡大され、広く臨床応用されてきている。

クラウンの講演など専門医あるいは専門医を目指している方々には、今更という感もあろうかと拝察するが、臨床経過報告をみると簡単な材料、技術ではないことが伺える。さらに、CAD/CAM 冠の特徴を理解し、今までの臨床をアップデートすることは、皆様の臨床に有意義であると考えている。

本研修会では、顎運動に造詣の深い田邊憲昌先生をお招きして、口腔悪習癖を有する症例での、支台歯形成のポイントや咬合接触の付与方法などについてご講演をいただく。さらに、数多くの臨床研究を行っている峯 篤史先生に、最新の臨床研究の結果から紐解いた CAD/CAM 冠の実情についてご紹介いただき、CAD/CAM 冠の真の姿を丸裸にさせていただく。

導入から 8 年経過した CAD/CAM 冠は、術式に対して一定のコンセンサスが得られつつある。しかし、臨床でのトラブルがすべて解消されたかと言えば、そうとは言えず、さらなる探求と多くの対話が必要であると感じている。本研修会では臨床家と研究者の対話の場所も提供したいと考えている。

トピックス

- CAD/CAM 冠の将来性
- CAD/CAM 冠における臨床的コンセンサス
- 双方向対話型研修会の可能性

新谷 明一先生



日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座

略 歴

1999年 日本歯科大学歯学部 卒業
2003年 日本歯科大学大学院歯学研究科臨床系修了
2006年 日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第2講座 助手
2006年 フィンランド、トゥルク大学歯学部留学
2010年 日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第2講座 講師
2015年 日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第2講座 准教授
2019年 日本歯科大学生命歯学部歯科理工学講座 教授（現職）
現在に至る

日本補綴歯科学会 代議員・JPR 英文誌編集委員会委員

日本接着歯学会 代議員・専門医・指導医

日本歯科理工学会 常任理事

日本デジタル歯科学会 理事

日本歯科審美学会 代議員・認定医

日本歯科産業学会 理事

小泉 寛恭先生



日本大学歯学部歯科理工学講座

略 歴

1995年 日本大学歯学部 卒業
2000年 日本大学大学院歯学研究科歯科臨床系 修了
2001年 日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座 助手
2006年 日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座 専任講師
2017年 日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座 准教授
2018年 日本大学歯学部歯科理工学講座 准教授（現職）
現在に至る

日本補綴歯科学会 代議員・専門医・指導医・修練医・認定医・
専門医制度委員会

専門医研修会 講演 1 抄録

咬合力と支台歯の条件から CAD/CAM 冠の適応を考える

演 者

田邊 憲昌（東北・北海道支部）

岩手医科大学歯学部 補綴・インプラント学講座

Evaluate the indications for CAD/CAM crowns based on occlusal forces and abutment tooth conditions

Norimasa Tanabe

Department of Prosthodontics and Oral Implantology, School of Dentistry, Iwate Medical University

現在、金属材料からジルコニアやレジンなどによるメタルフリーでの補綴へと急速に診療に使用する機器や材料が変化してきている。中でも保険導入されている CAD/CAM 冠は、適用拡大により当初は小白歯のみでしか使用できなかったが、現在では前歯部まで拡大され、より広く臨床で活用できるようになった。現在の世界情勢に関連した金属価格の高騰もあり、本学会をはじめ、今後さらなる適応の拡大を目指す動きがあるのも事実である。これは歯科診療におけるデジタル技術の進歩や、レジンブロックや装着材料の材質の改良の賜物であると言えるが、実際に我々が臨床の場で長く行ってきた鑄造冠による補綴歯科治療とは同じ部分もあり、異なる部分も散見される。その点を適切に理解していないと、クラウンの脱離や破損などのトラブルの原因となりえる。実際に、ブラキシズムをはじめとする咬合力の強い症例や、歯冠長の短い症例など適応すべきか躊躇するようなケースも多く存在する。そこで今回の研修会では、CAD/CAM 冠の適応ならびに支台歯形成時における問題点を提示しながら、多くの会員と有意義な討議を行える場所になることを期待する。

トピックス

- CAD/CAM 冠の適応
- CAD/CAM 冠の支台歯形成
- 咬合とブラキシズム

田邊 憲昌先生



岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座

略 歴

2002年 岩手医科大学歯学部卒業

2006年 岩手医科大学大学院歯学研究科修了

2007年 岩手医科大学歯学部歯科補綴学第二講座 助教

2015年 岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座 講師

2019年 岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座 准教授（現職）

現在に至る

日本補綴歯科学会 代議員・専門医・指導医・医療問題検討委員会委員

日本デジタル歯科学会 代議員・専門医

専門医研修会 講演2抄録

臨床研究の成果から CAD/CAM 冠を再考する

演 者

峯 篤史 (関西支部)

大阪大学大学院歯学研究科クラウンブリッジ補綴学分野

Considering CAD/CAM resin composite crown from the outcome of clinical research

Atsushi Mine

Department of Fixed Prosthodontics, Osaka University Graduate School of Dentistry

我が国ではレジンブロックを用いて Computer-aided design/Computer-aided manufacturing で製作するクラウン (以下 CAD/CAM 冠) が保険導入されている。厚生労働省の発表データでは、小白歯 CAD/CAM 冠の普及が確実に進んでおり、最新のデータ (2020 年 6 月) においては、小白歯歯冠補綴治療のメタルフリー率は 52% となっている (全部鑄造冠 48%)。

一方、臨床においては小白歯 CAD/CAM 冠の「脱離」が多く認められている。我々の臨床予後調査 (3 年 11 カ月) では、脱離をトラブルと捉えた場合の成功率は 77.4% であった。なお、脱離したクラウンを再装着した後の経過は良好であり、生存率 (口腔内に冠がある状態) は 96.4% であった。

この他にも小白歯 CAD/CAM 冠についての臨床アウトカムが着実に集積されており、その成果が補綴学会会員から発表されている。大白歯 CAD/CAM 冠の報告はまだ少ないものの、「破折は少ない」という小白歯と同様の傾向が認められている。

本講演ではそれらの臨床エビデンスを解説するとともに、

- ・ 2022 年において分かっていること
- ・ 患者への説明のあり方

を考察したい。

トピックス

- 日本補綴歯科学会の矜持
- 接着歯学
- 臨産官学民連携

峯 篤史先生



大阪大学大学院歯学研究科 クラウンブリッジ補綴学分野

略 歴

1999年 岡山大学歯学部 卒業

2003年 岡山大学大学院歯学研究科 修了

2004年 岡山大学医学部歯学部附属病院 補綴科（クラウンブリッジ） 助教

2006年 ルーベン・カトリック大学 ベルギー王国フランダース政府奨学生

2007年 ルーベン・カトリック大学 ポストドクトラル・リサーチャー

2010年 岡山大学医歯（薬）学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 助教

2012年 大阪大学大学院歯学研究科 クラウンブリッジ補綴学分野 助教

2019年 大阪大学歯学部附属病院 口腔補綴科 講師（現職）

現在に至る

日本補綴歯科学会 代議員・専門医・指導医・JPR 英文誌編集委員会副委員長

日本接着歯学会 評議員専門医学術委員会委員・研修検討委員会委員・専門医認定委員会委員・特別事業対策委員会委員

日本歯科理工学会 デンタルマテリアルシニアアドバイザー・英文誌（DMJ）編集委員会委員・調査研究委員会委員

日本口腔顔面痛学会 専門医・ガイドライン作成委員・優秀論文賞委員会委員

日本口腔リハビリテーション学会 認定医

日本歯科審美学会 編集委員会委員

— 本誌を複製される方に —

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、(社)日本複製権センターと包括複製許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複製権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の引用・転載・翻訳のような複製以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

一般社団法人 学術著作権協会

FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

ただし、アメリカ合衆国における複製については、次に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone : 978-750-8400 Fax : 978-646-8600

— 日補綴会誌への投稿方法 —

投稿希望の方は、下記の URL をご参照のうえ、

ご不明な点は学会事務局（電話：03-6722-6090）までお問合せください。

<http://www.hotetsu.com/t1.html>

日本補綴歯科学会 令和4年度第2回専門医研修会抄録集

令和4年6月19日発行

発行者 馬場 一美

編集 公益社団法人 日本補綴歯科学会

学会ホームページ /<http://www.hotetsu.com/>

〒105-0014 東京都港区芝2丁目29番11号

高浦ビル4階

公益社団法人 日本補綴歯科学会

電話 03(6722)6090
